キャラクター名: 水仙 紬(すいせん つむぎ)

プレイヤー名:

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	シンガーソングライター
オプショナル		年齢	23(見た目年齢)	性別	女
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	47 %
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	4	0	0			4
社会	0	1	0			1

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	6		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
通常	ＲＣ	5r+6		17		
80	ＲＣ	7r+6		17		
100	ＲＣ	9r+6		21		
100%オーバードーズ	ＲＣ	11r+6		23		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品(指輪)	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
古代種	P	N		
伊比津 美摘	P 信頼	N 無関心		
ｱﾙﾌﾚｯﾄﾞ･J･ｺｰﾄﾞｳｪﾙ	P 好奇心	N 嫌悪		
鴛渕 慶	P 純愛	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
原初の黄(ターゲットロック)	3	3	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果：	シーン中、攻撃力+[Lv*3]							
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：	C値-Lv(下限値7)							
餓えし影	1	1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果：	攻撃力+[Lv+2]の射撃攻撃							
原初の赤(魔獣の衝撃)	1	3	メジャー	視界	-	RC	-	
効果：	攻撃力+5の射撃攻撃、判定ダイス+Lv個、1R1回							
原初の白(マシラのごとく)	4	7	メジャー	-	単体	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	80	
効果：	攻撃力+[Lv*10]、ダイス-5個、1シナリオ1回							
原初の黒(オーバードーズ)	1	6	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	100	
効果：	組み合わせたエフェクトすべてのLvを+2、1シナリオLv回							
原初の虚(ファイナルフラッシュ)	1	22	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	120	
効果：	攻撃力+[Lv*5]、リアクションC値+1、1シナリオ1回							
原初の紫(呪われし者の印)	1	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ダイス減少打ち消し、1シナリオLv回							
フラットシフト	1	0	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	-	-	効果参照	D	
効果：	メジャーアクション、リアクションと組み合わせ、侵蝕値上昇を0にする、1シナリオ1回							
イージーフェイカー(透明存在)	★							
効果：	他人に注意を向けられなくなる							
傍らの影法師	★							
効果：	影を立体化させ、人や動物を作る							
効果：								
効果：								

以前のコードネームは戦女神(セクメト)

遥か昔から生きてきた
誰も、私とは一緒に生きられないのだから、なら最初から一人の方が余計な傷なんて作らなくて済むだろう？

ここからパーソナル
Rハンドアウト公開するまで見ちゃダメ

本名はマリエ･ロスチャイルド
今から数千年前、とある国で起きたレネゲイド災害により古代種に感染
故郷を失った彼女は住処を求めて旅に出るが、何年経っても老いることのない彼女を受け入れる者はいなかった
最初だけ受け入れられて、老いないことに気付かれると迫害されて
そんなことを数千年繰り返し続けてきた
名前で呼ばれるより、魔女だとかバケモノと呼ばれる回数の方が多くなった頃には名前を名乗るのをやめた
どうせ、誰も呼ばない名なら持っている必要もない
彷徨い続けて、心はとっくに限界を超えてしまった
求めるものもいつしか住処じゃなく死に場所に変わっていた
もうなにもかもどうでもいい
自分がもう人間と呼べるものではないことなど気が付いている
終わらせられるならなんでもいい
そう思いながら辿り着いた場所で、彼と出会った